

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	医療システム検討会等事務費	事業開始年度	平成15年度	作成責任者		
担当部局庁	医政局	担当課室	政策医療課 医療技術情報推進室	室長 山本 要		
会計区分	一般会計	上位政策	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助	関係する計画、通知等	平成18年1月:IT新改革戦略 平成19年3月:医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成20年8月:重点計画2008 平成21年4月:デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月:i-japan戦略2015 平成22年5月:新たな情報通信技術戦略			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療情報システムの標準化、セキュリティ確保のためのガイドライン等、医療情報システムの安全性確保や普及促進をするための検討会経費					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	電子カルテ等に用いる各種規格用語等の標準化やセキュリティ確保のためのガイドラインの逐次改定など、医療情報システム技術の進捗に合わせて適切に医療分野の情報化が進展するための検討を行う。					
実施状況	ガイドライン作成のためのワーキンググループ会議や全体会議、標準化を推進するための会議を実施					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	12	12	11	10	10
	執行額	14	12	6		
	執行率	116.7%	100.0%	54.5%		
	総事業費(執行ベース)	14	12	6		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	年度当初に月別の年間執行計画を作成し、適宜見直しを行うとともに、予算の執行は全て厚生労働本省で直接行い、全ての支出先を把握している。				
	見直しの余地	執行実績を踏まえ、平成22年度において予算を削減したところであり、引き続き予算要求の方法について改善できる点がある場合には、的確に予算に反映してまいりたい。				
チームの効率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 予算と執行の乖離の要因等を精査し、平成22年度より予算の削減を図っているところであるが、経費内容等の見直しによりさらなる予算の削減を図る必要がある。					
補記						

厚生労働省
6万円

(検討会経費)

A.厚生労働省
5.6百万円

(委員の謝金・旅費・会議費等)

A.日本盲人職能開発センター
0.4百万円

(速記)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

A.厚生労働省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費等	謝金・旅費・会議費等	5.6			
計		5.6	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)